

第三主日礼拝

午前 11:00-12:00

YouTube 配信

前奏・黙祷

招 詞 詩篇 99 篇 1-3 節 (旧約 1037)

賛 美 十字架のもとぞ (インマヌエル 37)

交 読 詩篇 33 篇 1-11 節 (旧約 963)

主の祈り・使徒信条

聖書朗読 マルコの福音書 14 章 3-9 節 (新約 97)

牧者公祷

説 教

『備えの香油』

松井 元始 牧師

応答のとき

賛 美 ナザレ人なるイエスのために(インマヌエル 595・献金とともに)

頌 栄 父・御子・御霊の (インマヌエル 7)

祝 祷

後奏・黙祷

◆次週(3月28日)の予定 *パームサンデー(棕櫚の聖日)*

・主日礼拝【YouTube 配信】 午前 11:00~12:00

*さんび=福 129、福 130、福 271

*説教「十字架を囲む」(マタイ 27:27-44)

【ご案内と報告】

・本日午後の役員会にて、今後の礼拝・教会活動について判断し、結果は追って皆様にご連絡を差し上げます。

・25日(木)に教団年会が持たれます。YouTube 視聴可(10:30~)⇒

・CGN-TV リビングライブ牧子師最後の担当が 20-23 日に配信されます。



インマヌエル王子キリスト教会

牧師:松井元始

〒114-0023 東京都北区滝野川 1-41-6 Tel 03-3910-4529

HomePage: <https://igm-ouji-church.jimdo.com/>

E-mail: immanuelojichurch@gmail.com

銀行振込:みずほ銀行 王子支店 普通 1364893



『備えの香油』 (マルコの福音書 14 章 3-9 節) 2021.3.14.

<はじめに> 十字架へ向かうイエスと取り巻く人々が十字架へ向かう歩みを追いかけています。同じ物事を見ても、人によって見方も評価も全く異なることがあります。どうしてそうなるのでしょうか。この物語でも、一人の女の行為に対する評価が、人々とイエスで分かれています。

I 物語を振り返る

①食卓での出来事(3)

エルサレム近郊のベタニアに住む病人シモンの家での食卓にイエスは招かれていました。一人の女がイエスの頭に香油を注ぎました。ナルドはおみなえし科の宿根草で、香りが強いものです。彼女が注いだ香油がどんなものだったか、聖書から見つけてください。

②人々の反応(4-5)

この女の行動を見た人々はどんな反応をしたでしょう。その香りから香油が高価なものであることに気づきます。何人かは憤慨しました。どうしてですか。そして、その人たちはどんな行動に出たでしょう。彼らの言動は、この女からすればどう映ったでしょう。

③イエスの反応(6-9)

その様子を見て当事者イエスも発言されます。彼女がしたことをイエスは受け止めていますか。また、憤慨する人々には何と言われましたか。イエスの言葉を聞いて、彼女は思ったでしょう。彼女にとって意外な言葉はなかったでしょうか。

II 心を見る

①なぜ香油を注いだのか

300 デナリは労働者の年収に相当します。ヨハネ 12:1-8 からこの女がマリアだとわかります。彼女にとってこの香油はどんなものだったでしょう。それを差し出すだけの理由があったはずで、ヨハネ 11 章で、彼女の弟ラザロがイエスによって死からよみがえりました。

②イエスのために (6)

彼女はただイエスのためにこの香油を注ぎました。それをイエスは喜び受け取ってくださいと信じてです。神の大役を果たすべく神に立てられる王・祭司・預言者を任じるときに油注ぎがなされます。彼女は一言も発していませんが、イエスへの信頼を表しています。

③自分にできることを(8)

彼女の所有の中でイエスに感謝と愛・信頼を表すにふさわしいものを探し、この香油を主に注いだのです。彼女にできる最大限を、壺を割り、惜しげもなくすべてを捧げました。私たちも主イエスに向き合う中で、何をどうすべきか探られます。(⇒ Iサムエル 16:7)

III 神の視点で見る

①良いこと(6-7)

彼女のこの行為を憤慨する人は無駄だと責め、より有効な活用を意見します。イエスは貧者への施しも良いことと認めつつ、指図することでなく各自の心の発露だと言われます。その時、人・場面に最も相応しいことを主の御前で探り、とらえて行動しているでしょうか。

②時機に適った(7-8)

イエスはこれからどこへ向かい、どうなると言っておられましたか。イエスが一緒にいるときは間もなく終わろうとしています(1, マタイ 26:2)。彼女がどこまでイエスの死を理解していたでしょう。彼女はこの機会に、と動き、主はそれを埋葬の備えとして受け取られました。

③福音の本質と通じる(9)

彼女にとって意外な言葉だったはずで、福音とはイエスの十字架と復活による罪の赦しと救いです。イエスは、彼女の行為と福音とは相通じていると言われます。どんなところが共通でしょうか。彼女の行為を人は無駄と評しましたが、主は永く記念されました。

<おわりに> 「十字架のことばは、滅びる者たちには愚かであっても、救われる私たちには神の力です」(Iコリント 1:18)。無駄を省き、賢く有効に生かすことは大切です。しかしその前提にある価値観・基準は何でしょうか。イエスや彼女と同じものを私は持っているでしょうか。(H.M.)